

●地震発生時から避難するまでの行動(在宅時)●

地震発生	！とにかく自分の身を守ろう！ 地震だ！ まず身の安全 姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。 
2～5分	！しっかり火の始末で、火災防止！ 大揺れがおさまった 台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。 
5～10分	！わが家の安全確認、確保！ 火の始末のあと 家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。 
10分～半日	！隣近所の安否確認、助け合い！ 外に出たあと 家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。 
半日～3日	！2、3日は自分でしのぐ！ 避難後、数日間 地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品(非常持ち出し品・備蓄品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。 

●家のなかの防災対策●



- ① **タンス・棚**：L字金具などで固定しましょう。
- ② **本棚**：本が飛び出さないようバンドをかけましょう。
- ③ **テレビ**：家具の上などには置かず、低い位置に固定しましょう。
- ④ **額縁**：チェーンや金具で固定しましょう。ガラス面には飛散防止フィルムを貼りましょう。

- ⑤ **窓**：ガラス面には飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ⑥ **照明器具**：吊り下げ式の照明器具は、チェーンや金具で固定しましょう。
- ⑦ **暖房機器**：周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。ストーブは耐震自動消火装置付きの機器を使用しましょう。
- ⑧ **ピアノ**：脚には専用のすべり止め器具を使用しましょう。本体は太い柱などに連結して固定しましょう。
- ⑨ **冷蔵庫**：付属のベルトや針金などで壁に固定しましょう。
- ⑩ **感震ブレーカー**：電気火災対策として設置しましょう。

●名古屋市との防災協定について●

本町と名古屋市は、「災害時における広域的な避難者の受入れ等に関する協定」を結んでおります。これにより町民の方も北部市場や名古屋北高校など、より近い名古屋市の避難所を利用できるようになり、避難時間の短縮が期待できます。

問合せ：防災安全課防災安全グループ ☎ 28・0355 FAX 29・1177